

【審査ポイント 参考資料】（2024年12月）

NPO寄付システムの申請・審査に関する参考情報

ろうきんNPO寄付システム 運営事務局

本システムへのご応募を検討されるにあたり、申請・審査に関する補足情報を以下にお示しいたします。ご参考になれば幸いです。

1. 「選考事項」に関する情報が重要

本システムの審査においては、特に募集要項にも掲載されている「選考事項」に関する情報を参考にしながら審査されます。

過去に採択された申請案件においては、応募用紙等で「選考事項」について具体的またはわかりやすく判断できるような情報が提示されている傾向が見られます。

ただし、各選考事項に対し、「事項をすべて書類に盛り込めば確実に採択される」という訳ではありません。

該当する事項について、関連する情報が適切に提示されていることが重要といえます。

下掲の「選考事項」以外にも、法人としてPRしたいことがあれば、わかりやすく関連情報を記載してください。加算材料となる場合も十分あります。

【参考：各選考事項に関する提示情報の例】 ※飽くまでも一例です。

選考事項	掲載情報の例
項目①：社会的共感性	★この数年で増加した会員の概数、増加率 ★事業を通じた関係組織・協力者の多様さ など
項目②：独創性	★県内の同業種では初めてとなる取り組みの内容 ★実験的な事業の実施状況 など
項目③：継続性	★数値では見えにくい、長年取り組んで得られた成果 ★過去に生じた問題の乗り越え方や改善例 など
項目④：将来性	★今後、複数年にわたる事業計画の概要 ★目指している将来像とそのための方針の体制 など
項目⑤：受益者の範囲	★事業を通してどのような人たちの役にたつのか、 その対象者の立場・層や人数 など
項目⑥：法人の情報公開度	★会報誌やSNSなどを用いて多様に情報を発信 ★NPO 法人会計基準に則った決算報告を实践 など

（裏面につづく）

2. 添付資料の示し方

実際には各種情報を記載した応募用紙の提出をもって申請することになりますが、紙面や記載文字数は限られています。

したがって、上記の「選考事項」に関する情報がよりよく把握できる「添付資料」を活用することも重要と言えます。

その一方で、大量の資料が添付されていると、逆に PR ポイントが伝わりづらくなります。

添付資料は、なるべくコンパクトに、かつ特に PR したい情報は目立つような形にして提示されることをお勧めします。

3. 注意点

応募用紙の冒頭で、「今回申請する分野」に○印をつける欄があります。

この欄には、申請される法人が定款に掲げている活動分野の中から「1つだけ」選んで○をつけてください。

毎年、定款に掲げている「全ての分野」に○印をつけているケースが見受けられます。

「NPO寄付システム」は活動分野ごとに集まった市民からの寄付を配分する仕組みであることから、分野を1つ選択できていないと審査の俎上に乗らないこともありえます。十分にご注意ください。

4. その他

「なぜ我々の団体が採択されないのか？」というお問合せをいただくことがあります。

審査は、たとえば申請団体8件のうち様々な観点から審査員の協議を経て、結果的に1つの団体が採択される・・・というイメージで行われます。

その点では、審査は飽くまでもその時の相対比較によるもので、採択に至らなかったとしても、「その申請団体の活動や取組みを評価しない」ことを意味している訳ではないことをご理解くださいませ。

そのうえで、過去に採択されたケースを振り返って見て取れる「審査時の傾向」として、上記の「1. 選考事項」「2. 添付資料」の情報をお示しいたしました。

応募される際にご参考いただければと思います。

以上です。

皆さまからのご申請、お待ちしております！